

復興支援道路【宮古盛岡横断道路】
地方自治体職員が「都南川目道路」を視察します
～東北・北海道ブロック土木技術者が技術研鑽～

宮古盛岡横断道路を構成する「都南川目道路（1工区）」は、復興支援道路として「平成27年度開通」を目指し、現場作業を進めているところです。

この度、東北・北海道ブロックの土木技術者約30名が技術研鑽のため新川目トンネルの視察を行うこととなりましたのでお知らせします。

記

1. 日 時：平成26年 9月12日（金） 9時より
2. 視察場所：宮古盛岡横断道路（都南川目道路1工区）
（新川目トンネル盛岡市側坑口）
3. 参加者：地方自治体 東北・北海道ブロック土木技術者約30名
4. 集合場所：新川目トンネル盛岡市側坑口（別紙参照）
5. その他：取材をされる際は、午前9時までに集合場所へお越しください。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3131

副 所 長 ^{か め い} 亀 井 ^{まさよし} 督 悦（内線205）

工務第二課長 ^{とのさき} 外 崎 ^{たかひろ} 高 広（内線411）

宮古盛岡横断道路の進捗状況は、下記URLでご覧いただけます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/fukkoudouro/index.htm>



●待合せ場所:<田の沢IC付近>
県道36号から、市道にはいる。

●市道に入り橋梁をくぐって
すぐ左折して駐車します。

県道沿いにチェーン着脱場有●
反対側に手代森TN坑口見える。

災害時における緊急輸送道路の確保

- ◆ 東日本大震災では、宮古市等の沿岸地域で甚大な被害が発生
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）
〔 国道106号 救援支援物資輸送612回
3月12日～4月末：県トラック協会契約分 〕



緊急輸送道路	
津波浸水区域	

▼東日本大震災時の状況（宮古市）



写真：岩手日報社宮古支局 撮影



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- ◆宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の医療施設へ救急搬送
- ◆宮古盛岡横断道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数：17回
合計時間：112時間

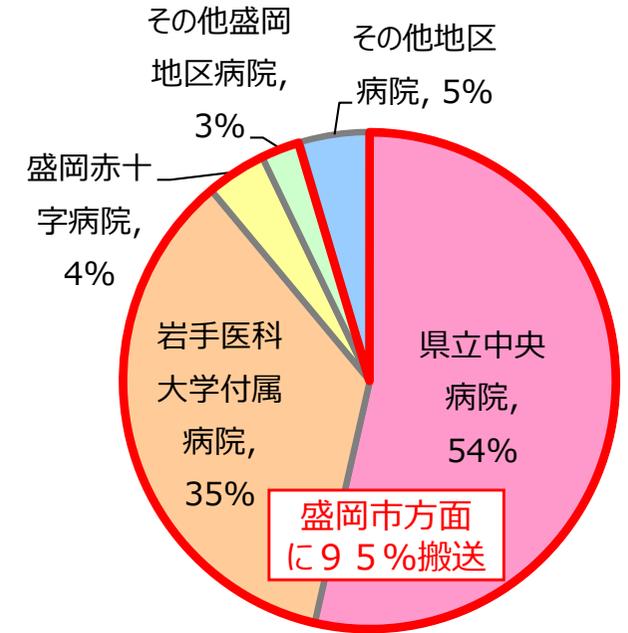


急カーブ集中区間
23箇所

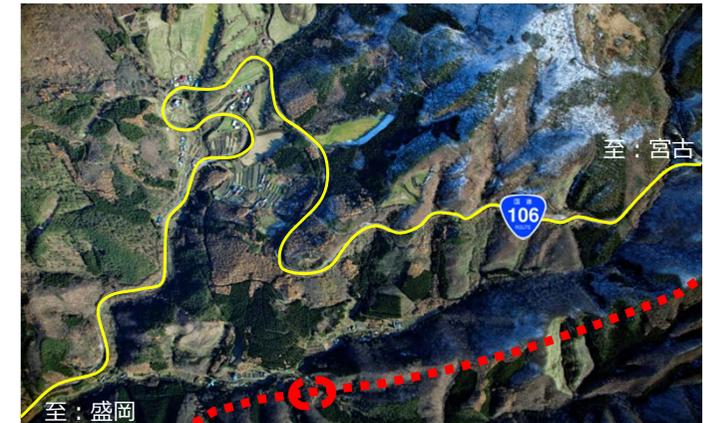
急カーブ集中区間
12箇所

急カーブ集中区間
14箇所

▼宮古地域の管外搬送状況



▼区界地区の急カーブ状況

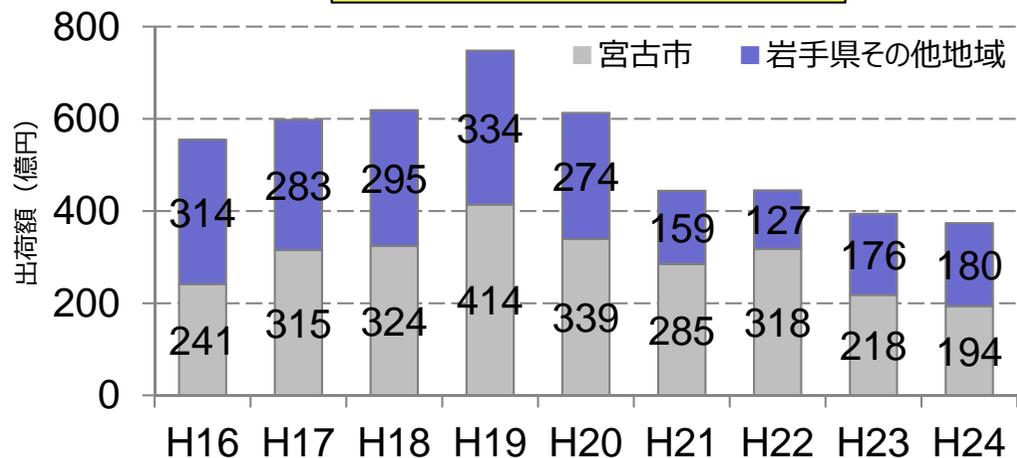


沿岸地域の主要産業の復興を支援

- ◆ 宮古市のコネクタ製造や山田町の養殖カキ生産は、宮古地域を代表する産業
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、輸送時間の短縮など物流効率化を促進し、沿岸地域の早期復興を支援

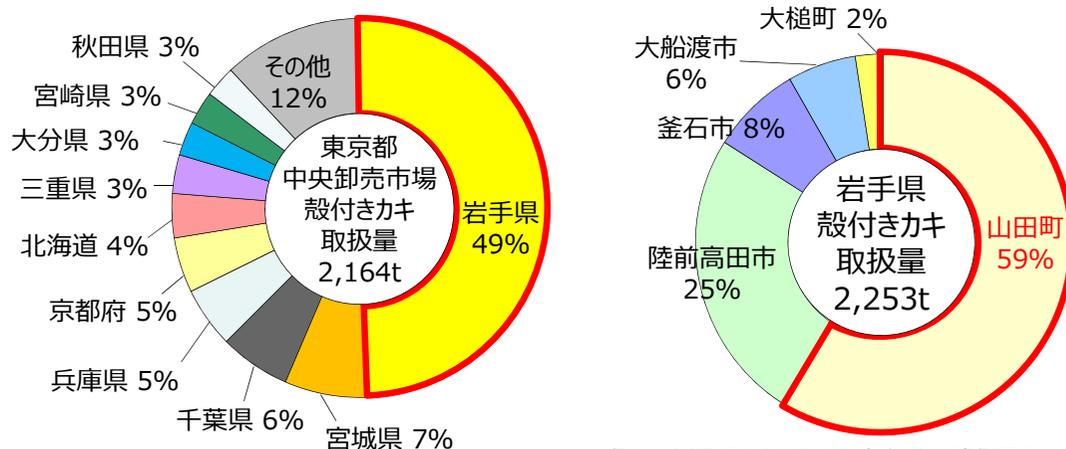
▼ 岩手県内のコネクタ出荷額の推移

岩手県が全国7位の出荷額



資料：工業統計

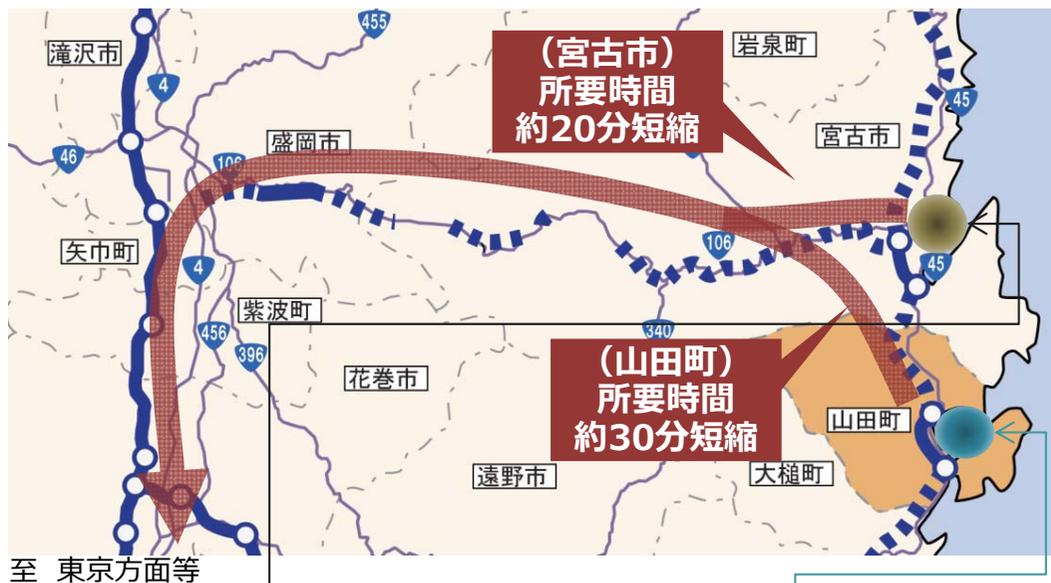
▼ 岩手県殻付きカキ取扱量



資料：東京都中央卸売市場年報（H22年度）

資料：岩手県における主な浅海増養殖魚種別生産高（H22年度）

※135g/個として算出した概算値



【コネクタ】



【カキ】



